

令和6年7月12日

長野市立博物館 夏季企画展

「よみがえる！長野のゾウたち」を開催します

巨大なゾウの全身骨格や長野市内で見つかった3種類のゾウ化石、ゾウの剥製などを中心に紹介します。



左：アジアゾウの頭蓋骨（当館蔵）中央：ツダンスキーゾウ全身骨格化石（三重県総合博物館蔵）
右：戸隠産出ミエゾウ下顎骨化石（当館蔵）

- 1 内容 長野市内ではシンシュウゾウ（約500万年前）、ミエゾウ（約400–300万年前）、ナウマンゾウ（約34–3万年前）という3種類のゾウの化石が発見されています。現在はアフリカ大陸とアジアの一部地域にしかないゾウが、なぜ長野の地で発見されているのでしょうか。「ゾウ」という生き物のユニークな特徴や、かつて長野にいたゾウとその当時の様子などを紹介します。
- 2 開催期間 会期：令和6年7月13日（土）～9月23日（月）
休館日：月曜日（祝休日を除く）、祝日の翌日（土・日・祝日の場合は開館）
※8月13日（火）は開館
- 3 場所 長野市立博物館 特別展示室
- 4 開館時間 9：00～16：30（入館は16：00まで）
- 5 入館料 一般500円、高校生150円、小・中学生100円（土曜日は小・中学生無料）
- 6 その他 詳しくはホームページをご覧ください

観光文化部 長野市立博物館

（館長）中野 真一

（担当）田村 遼

TEL：026-284-9011

FAX：026-284-9012

E-mail：museum@city.nagano.lg.jp